



- ・ 5月上旬移植のコシヒカリの成熟期は「平年より3～4日程度早い」です。
- ・ 「飼料用米多収日本一」コンテストにエントリーしましょう！（別添チラシ参照）



### 1. 幼穂形成期～登熟期間の気象

#### ◇平均気温

高温・少雨

- ・ 平年より高く推移しています。

#### ◇日照時間

- ・ 7月の前半は平年並み、7月後半から8月第1半旬にかけては平年より高く、その後は、平年並みに推移しています。

#### ◇降水量

- ・ 全体的に、平年より少なく推移しています。
- ・ 8月には、台風の影響により、降雨がありました。

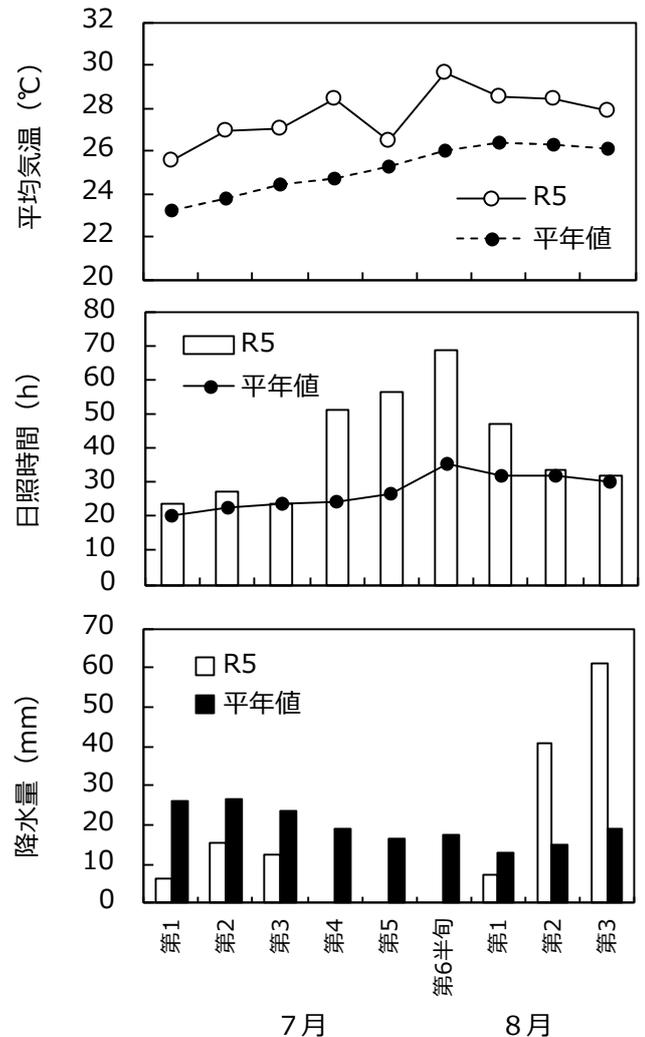


図1 平均気温・日照時間・降水量の推移  
(令和5年つくば市館野アメダスデータより)  
(平年値は1991～2020年の平均値)

### 【農作業安全】 もうすぐ稲刈りが始まります。コンバインでの事故には十分注意しましょう！

- ①機械の点検やつまりの除去のときには、必ず、エンジンを停止！
- ②駆動部分への注油は、クラッチを切りましょう。
- ③（草むら、せまい道、坂道などでは）  
使いなれた道でも、コンバインから降りて、道幅や路肩の状態を必ず確認しましょう。
- ④コンバインを動かすときは、周囲に人がいないことを確認！
- ⑤後退時には、後方を十分に確認しましょう。
- ⑥こどもなど、作業員以外の人を乗せて運転しないこと！

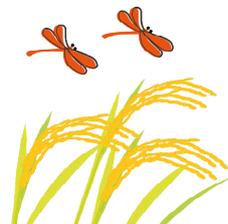


## 2. 管内の水稻の出穂状況と収穫適期（予測）について

今年の出穂期は、ふくまる SL・コシヒカリともに平年より早くなりました。

平均気温からの収穫適期の予測では、コシヒカリは平年より3～4日程度、収穫適期が早いと予測されます。さらに今年は、登熟期間の気温が平年より高く、今後も高いと予想されているため、収穫適期は予測値より早まる可能性がありますので、ご注意ください。

また、6月の台風2号に伴う降雨で冠水被害にあった水稻は、被害を受けていない水稻よりも出穂期が遅れている可能性があります。必ず水稻の帯緑籾の状況をよく確認し、早刈りとならないよう十分注意のうえ、収穫するようにしてください。



| 品種                | 調査地点                     |     | 田植日  | 出穂期  | 収穫適期<br>(※予測値) |
|-------------------|--------------------------|-----|------|------|----------------|
| ふくまる SL<br>(早生品種) | 取手市下萱場                   | R5  | 5/1  | 7/17 | 8/22～8/27      |
|                   | つくばみらい市下長沼<br>(注) 冠水被害あり |     | 5/2  | 7/23 | 8/28～9/2       |
| コシヒカリ<br>(中生品種)   | つくば市上菅間                  | R5  | 5/2  | 7/22 | 8/28～9/2       |
|                   |                          | 平年値 | 5/1  | 7/25 | 9/3～9/7        |
|                   | つくば市今鹿島                  | R5  | 5/1  | 7/23 | 8/29～9/3       |
|                   |                          | 平年値 | 5/1  | 7/24 | 8/31～9/4       |
|                   | つくばみらい市中島                | R5  | 5/1  | 7/22 | 8/28～9/2       |
|                   |                          | 平年値 | 4/30 | 7/25 | 9/1～9/5        |

※上記の収穫適期は、8/13までの平均気温（R5）と8/14以降の平均気温（平年値）の積算気温から算出した。

### おねがい

次年度より、水稻情報の配布はメールで行う予定です。このため、本紙が郵便で届いている方については、メールアドレスの登録をお願いいたします。

なお、メールでは研修会のおしらせなど役立つ情報の提供も行っております。

登録は、右記のQRコードまたは、[tsunofu@pref.ibaraki.lg.jp](mailto:tsunofu@pref.ibaraki.lg.jp) へのメールにて「①お住いの市町村名」と「②氏名」をお知らせください。



### 3. 今後の管理のポイント

1) 高品質米生産のために、適期収穫に努めましょう！

**早刈り** 収量・千粒重・品質の低下：青米や死米が増えるなど。

食味の低下：タンパク質含有率が高くなるなど。

**刈り遅れ** 品質の低下：玄米の光沢がなくなり、胴割粒や着色粒が多くなるなど。

表1 品種ごとの収穫適期

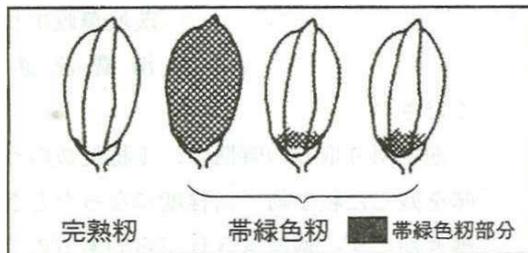
| 熟期 | 品種      | 収穫適期  |
|----|---------|---|
| 早生 | あきたこまち  | 出穂後 30～35 日、帯緑籾率 10%頃から約 5 日間。                |
|    | ふくまる SL | 出穂後 38～40 日、帯緑籾率 6～15%頃。                      |
| 中生 | コシヒカリ   | 出穂後 35～40 日、帯緑籾率 10%頃から約 5 日間。                |
|    | にじのきらめき | コシヒカリより 4～5 日程度長くかかる。<br>出穂後約 43 日、帯緑籾率 10%頃。 |

注) 出穂後の気温によって、日数の長さは前後します。

<帯緑籾率から収穫適期を判定する方法>

平均的な生育箇所の 5～6 本の穂をまとめてにぎってみましょう。

うっすらと黄緑色をしたもみの割合（帯緑籾率）で判断します。



◆参考資料◆ 「山口正篤：あなたにもできる安心イネづくり，1993」

☆ 県作成の“水稲「コシヒカリ」の適期収穫チャート”もご活用ください！ ☆

2) 収穫作業は慎重に行いましょう！

① 異なる品種や作目の混入を防ぎましょう。

収穫作業を始める前や、複数品種の作付で品種が変わる時には、機械・器具を清掃しましょう。

② 機械作業は「籾水分が 25%以下になってから」

作業性や籾の損失、品質・食味の低下などを考慮し、高水分籾の収穫は行わないようにしましょう。

## 4. イネ縞葉枯病の発病状況（速報）と今後の対策

イネ縞葉枯病は、ヒメトビウンカが媒介するウイルス病で、管内でも発生が問題となっています。

今年のイネ縞葉枯病の発病状況（穂揃い期）は、つくば市・取手市では昨年と比べてやや多く、ほかの地域では横ばい～少なくなっています。いずれの地点でも、発病株率は10%以下となっており、箱施用剤の使用により被害の拡大が抑制されている、または発生が少ないと考えられます。引き続き、地域の発生状況を把握しながら、次年度の対策も徹底しましょう。

今後、水稻の収穫が始まると、ヒコバエ（再生イネ、二番穂）や水田周辺のイネ科雑草は、イネ縞葉枯病ウイルスを媒介するヒメトビウンカの生息・越冬場所になります。

県農業研究所の調査の結果では、水稻の収穫後の耕起時期は早い方が、水田畦畔のヒメトビウンカの越冬量が少ないことがわかっています。ヒコバエはできる限り早く耕起し、水田周辺の雑草地を除草しましょう。

| 調査地点    |     | 発病株率 (%) |     |     |     |   | 発病莖率 (%) |     |     |     |   |
|---------|-----|----------|-----|-----|-----|---|----------|-----|-----|-----|---|
|         |     | R2       | R3  | R4  | R5  |   | R2       | R3  | R4  | R5  |   |
| つくば市    | 今鹿島 | 2.3      | 3.0 | 1.7 | 3.3 | ↗ | 0.9      | 0.0 | 0.1 | 0.9 | ↗ |
| 守谷市     | 野木崎 | 2.3      | 4.0 | 6.7 | 5.6 | ↘ | 0.7      | 0.5 | 1.4 | 0.8 | ↘ |
| つくばみらい市 | 中島  | 0.0      | 5.0 | 8.7 | 6.0 | ↘ | 0.4      | 0.0 | 0.6 | 0.7 | → |
| 取手市     | 上萱場 | -        | -   | 0.7 | 7.7 | ↗ | 0.0      | -   | 0.3 | 1.1 | ↗ |
| 利根町     | 立崎  | 0.7      | 4.8 | 0.7 | 0.3 | ↘ | 0.0      | 0.5 | 0.0 | 0.0 | → |

調査方法：発病株率は、連続100株×3反復（計300株）調査。

発病莖率は、連続5株×5反復（計25株）調査。

発病の判定は、発病株率と同様。

調査はコシヒカリを対象に、穂揃い期以降（8/3および8/4）に実施しました。

いずれの調査地点も、ウンカ類を対象とした水稻育苗箱施用剤を散布しています。



\* イネ縞葉枯病防除マニュアル（茨城県版）もご確認ください。

（茨城県農業総合センター農業研究所作成）

<https://www.pref.ibaraki.jp/nourinsuisan/noken/right.html> または

[https://www.pref.ibaraki.jp/nourinsuisan/noken/documents/r3\\_shimahagare\\_manual.pdf](https://www.pref.ibaraki.jp/nourinsuisan/noken/documents/r3_shimahagare_manual.pdf)